



<まちづくり団体・住民の皆さまの取組み>

ブロック塀を板塀に…真壁地区の景観再生事業

(社団法人茨城県建築士会桜川支部)

茨城県建築士会桜川支部は、桜川市誕生とともに真壁支部と西茨城支部の岩瀬地区在住の建築士によって創設いたしました。桜川支部となつてからは活動の期間は短いのですが、以前の支部の時から継続して行っている事業について紹介させていただきます。

平成17年8月、桜川市が誕生する2ヶ月前に旧真壁支部が中心となつて、桜川市真壁町真壁地区とその周辺にある歴史的建造物が多く残る地区を中心に、住みやすく、美しくし、情緒豊かなまちづくりを目指すため、社団法人茨城県建築士会の会員、地元まちづくり団体、一般住民、学生

等の協働により、上記の目標を達成するための「まちづくりワークショップ」を開催いたしました。

茨城県建築士会の各支部が持ち回りで、毎年県内各地でワークショップが開催されてまいりましたが、参加者数や意見の多さ、知識の熟度を見ると、これまでで最も素晴らしい内容となりました。

そこで、平成18年11月に歴史的建造物が多く残る2つの通りエリアを絞り込み、再度ワークショップを開催いたしました。



作 業 中



ワークショップ終了後、会員だけでワークショップで出た意見の中から、我々でできることを探していたところ、「街中の景観を阻害しているブロック塀を板塀にしたらどうか。」という意見がありました。

この意見を見たときに、建築士会が中心となり、特技（職業ですが……。）を活かし、真壁地区で進められている歴史的資源を活かしたまちづくりを、住民の方やまちづくり団体の方と一緒に進めることができると思い、見芽通りのブロック塀の修景に取り組みました。

会員も積極的に参加してくれて、2日間ですが作業を無事終了することが出来ました。写真で見ただけであればわかるように、これまで景観を阻害していたブロック塀が少し手をかけることによって、景観にマッチした塀になるのが分かるかと思えます。

この作業は、材料費が1.0m当たり2万円と安価にできますが、桜川支部の経費で実施したため毎年1箇所が限界かと思えます。事業の推進を図る意味でも、エリア内のブロック塀の安全性を含めた分布調査及び、地域の方が積極的に取り組める仕組み作りが今後の課題となるように思われます。

今後は、住民の方やまちづくり団体の方と一緒に、こういった作業をワークショップという形にして広く開催したいと考えております。また、桜川市の景観を建築士としての視点から提言できるよう活動を続けて参りたいと思えます。

【お問合せ先】

社団法人茨城県建築士会桜川支部

代表 武村 実

TEL：0296-54-2023

FAX：0296-54-2023



作業終了後